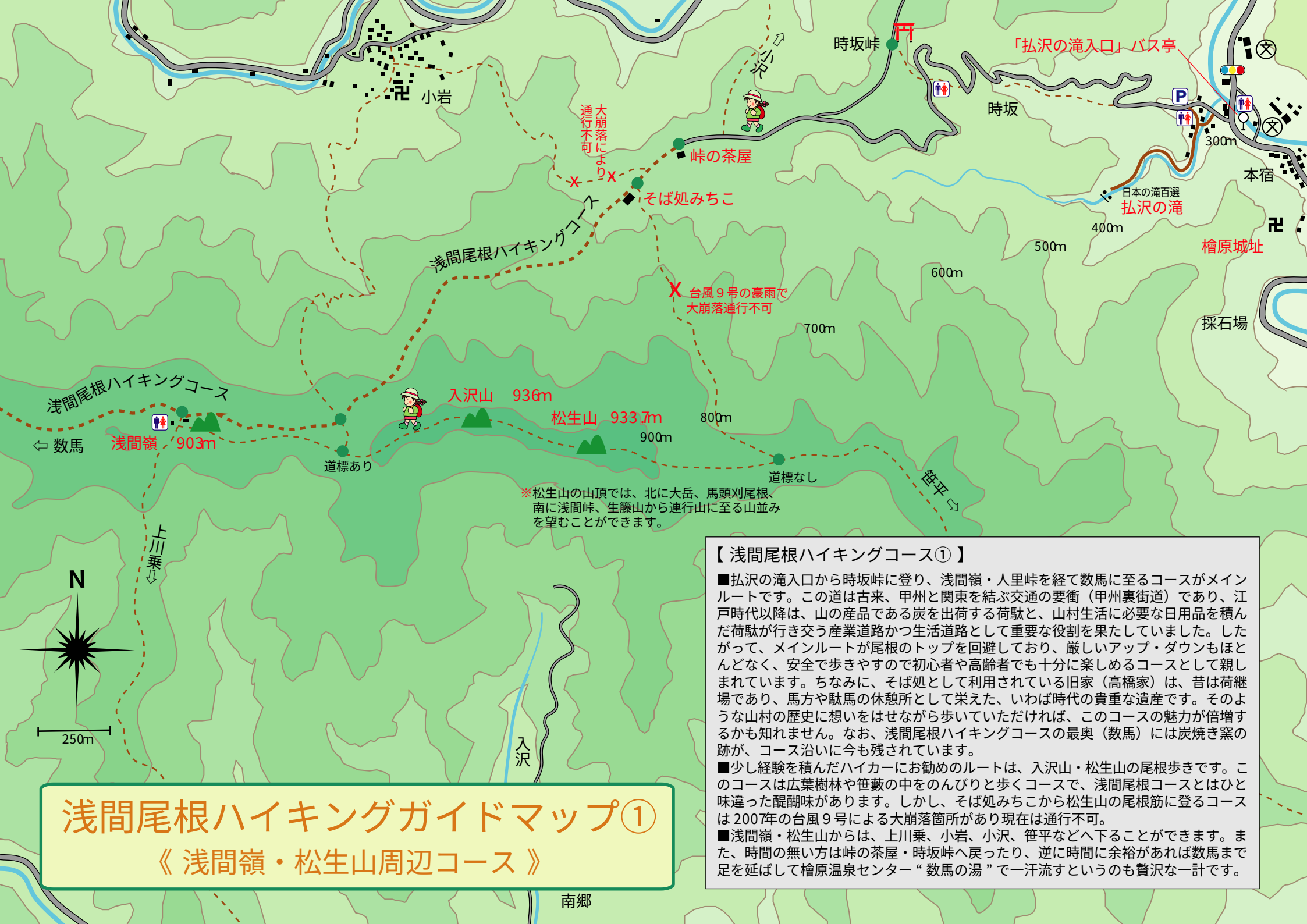

浅間尾根ハイキングガイドマップ①

《 浅間嶺・松生山周辺コース 》

【 浅間尾根ハイキングコース① 】

■払沢の滝入口から時坂峠に登り、浅間嶺・人里峠を経て数馬に至るコースがメインルートです。この道は古来、甲州と関東を結ぶ交通の要衝（甲州裏街道）であり、江戸時代以降は、山の産品である炭を出荷する荷駄と、山村生活に必要な日用品を積んだ荷駄が行き交う産業道路かつ生活道路として重要な役割を果たしていました。したがって、メインルートが尾根のトップを回避しており、厳しいアップ・ダウンもほとんどなく、安全で歩きやすいので初心者や高齢者でも十分に楽しめるコースとして親しまれています。ちなみに、そば処として利用されている旧家（高橋家）は、昔は荷継場であり、馬方や駄馬の休憩所として栄えた、いわば時代の貴重な遺産です。そのような山村の歴史に想いをはせながら歩いていただければ、このコースの魅力が倍増するかも知れません。なお、浅間尾根ハイキングコースの最奥（数馬）には炭焼き窯の跡が、コース沿いに今も残されています。

■少し経験を積んだハイカーにお勧めのルートは、入沢山・松生山の尾根歩きです。このコースは広葉樹林や笹藪の中をのんびりと歩くコースで、浅間尾根コースとはひと味違った醍醐味があります。しかし、そば処みちこから松生山の尾根筋に登るコースは 2007年の台風９号による大崩落箇所があり現在は通行不可。

■浅間嶺・松生山からは、上川乗、小岩、小沢、笹平などへ下ることができます。また、時間の無い方は峠の茶屋・時坂峠へ戻ったり、逆に時間に余裕があれば数馬まで足を延ばして檜原温泉センター“ 数馬の湯 ”で一汗流すというのも贅沢な一計です。